

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	nonmelanoma skin cancer	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Squamous cell carcinoma, Lymph node metastases	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し （ 1 ）	
	ガイドライン上での目次名称	SCCCQ6-5	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 （ VI ）	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Nonmelanoma skin cancer: Guideline for treatment and management in Australia（ガイドライン）	
	雑誌 ID		
	巻		
	号		
	ページ	86-88	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 （ 1 ）	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 （2）	
	発行年月	2002	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Austrarian Cancer Network Management of non-melanoma skin cancer Working Party	
その他著者 1			
その他著者 2			
その他著者 3			
その他著者 4			
その他著者 5			
その他著者 6			
その他著者 7			

レビュー研究の6項目	目的	有棘細胞癌のリンパ節転移の診断と治療
	データソース	専門家の意見
	研究の選択	同上
	データ抽出	同上
	主な結果	有棘細胞癌のリンパ節転移の頻度は低いが、転移した症例の予後は悪い。このため、臨床的に所属リンパ節転移を疑った場合は fine needle aspiration biopsy で確定診断をつけるべきである。
	結論	現在、リンパ節転移を疑った場合は fine needle aspiration biopsy を行って確定診断をつけた後、転移があれば根治的リンパ節郭清を行う。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	
レビューワーコメント	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ VI ） 有棘細胞癌に対するセンチネルリンパ節生検はその概念が新しいため、欧米の確立されたガイドラインにおいても推奨されていない。